

うしろの
くまちゃん

R ❄️ 18
ADULT
ONLY





美咲ちゃんが
乾かしてくれる
なんて

少し
新鮮だなあ

はは：
そうですね



まあ：
タイミングが中々
合わなかっただけで

花音さんが
よければあたしは
いつだって
大丈夫ですよ？

それに：
花音さんの髪って

ちゃんと
乾かさないと
大変になりそうで

手伝いたいな、
つこ

たしかに：
手入れしないと
朝ボサボサに
なっちゃうね

あはは...



うーん...

えっと...
そういうえは



ううん、
全然
大丈夫だよ！

乾かすの
上手いなくて
思ったんだ

あ、
よかった...



...あ、熱くは
ないんですか？



妹の髪とか
乾かしてたから
手付きが少しは
慣れてるかも...

あ！
そういうことかあ



でも、
最初は色々
慣れてなくて

「しっかり
して！」と
怒られたりも
したので...

あはは、
そうなんだ...



...あ



花音さんの
うなじ...

肌綺麗だな...

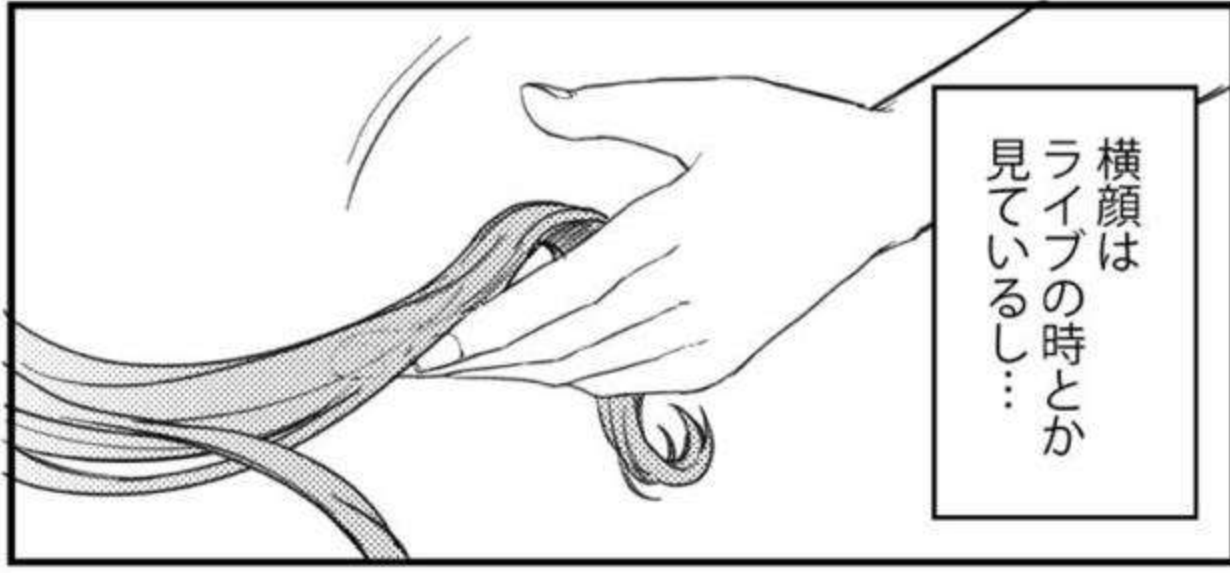


こんなに
近くで見るとは
始めてかも...

サラッ



—なんか...



横顔は
ライブの時とか
見ているし…



—あ、
そっか…



そういう…事を
する時には—



お互いに
見つめ合ってる
から…

いしも…



…っ!
!?



—美咲、
ちゃん？







あたしが…



花音さんの
そういう表情に
弱いって…



…美咲ちゃん
目、開けて…？

ちゃ

あ…

!

？



…それに
花音さんだって

うん…?



っ、ちよつと
ストップ
花音さん…!

あ、
汗かいてるから
待って…

ええ!?
気にしすぎだよ
美咲ちゃん…

私は別に
いいんだけど
なあ…



ま、まずい
この流れだと…



風呂上がりで
すぐ寝た方が
気分よく
寝られるん
じゃない…?

もじもじ



あつ…
でもね、私は
美咲ちゃんと
えっと…

い、一緒に
汗かくのも
嬉しいかな…
っ



て…



…美咲ちゃん

や、

その

顔…真っ赤にな
ってるよ…?

花音さんが
そんなこと
言うから…!

さっき…
考えごと
してたよね…?



…ねえ、
美咲ちゃんが

そ、それは…
っ…!!



想像して
いた事…

全部…
教えて…?



…ずるいです
花音さん…



あたしの
考えくらい…

花音さんは、
全部…
知ってるのに…!!

…!



全部…

気づいていたの…



…うん、

意地悪な事
言って…
ごめんね…?

すま



そ、そんな事
ないよ…

嫌だったら…
ちゃんと
言ってく下さい…

むしろ…



…困るくらいに
好きな気持ち

全然
収まらないから…



ま、
まず…

ホックを
外さないで…

フッ



…って
あれ…?

なんか
背中の方が



フルッ





…ごご
ごめんね…

がまま



あっ…



や、やっぱり
こういうのは…

嫌…
だよ…？

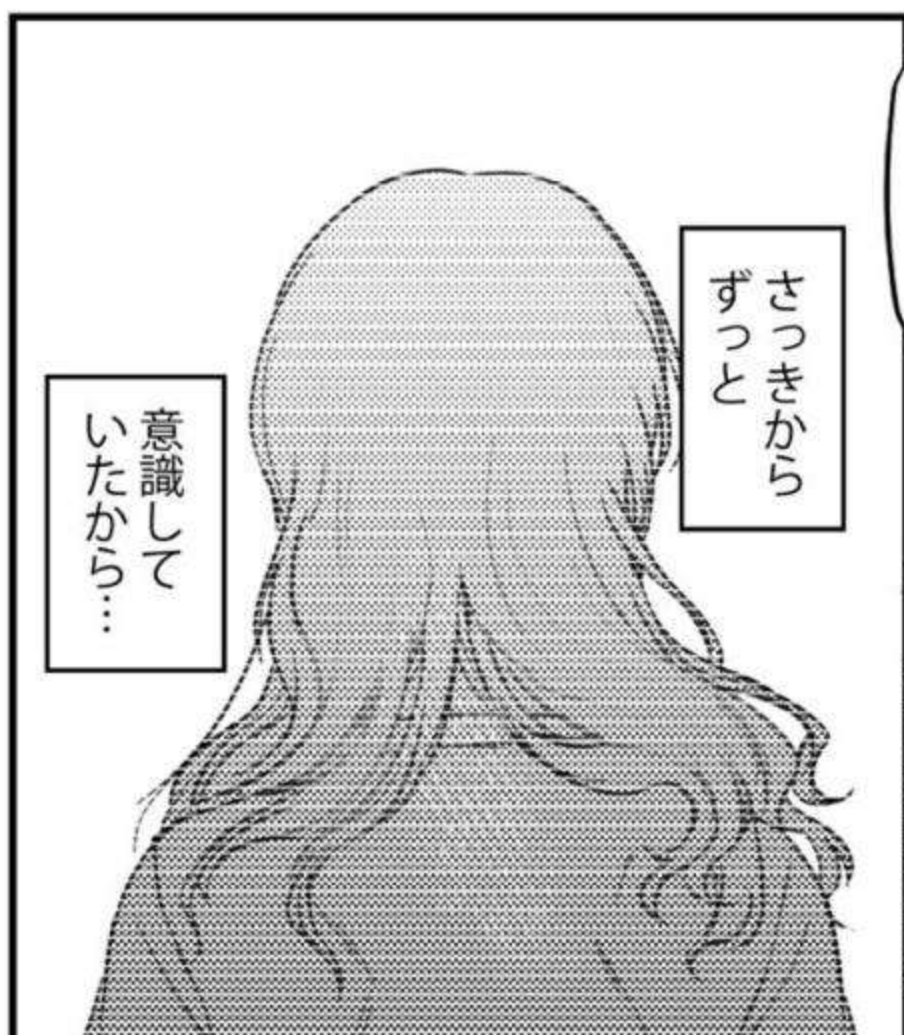


あたしは
嬉しいん
ですよ…？

そんな事…
思っ…

！！
！！
！！







あっ……!!

効かなく
なる……

—我慢が



ちよつと……
苦し……!!

あっ
そ、そんなに
吸ったら……んっ!!

み、
美咲ちゃん……!!

はっ……

ご、ごめん
花音さん……!!



痛かったんですか…？

あ…大丈夫
痛くはないの…

慣れなくて
驚いただけだよ

それとね…
ちゃんと
最後まで…

して
欲しいから…

…はい

プッ♡



すみません…

大丈夫
だって



…じゃ、
入れますね…

うん、
うん…

ドキッ

ドキッ



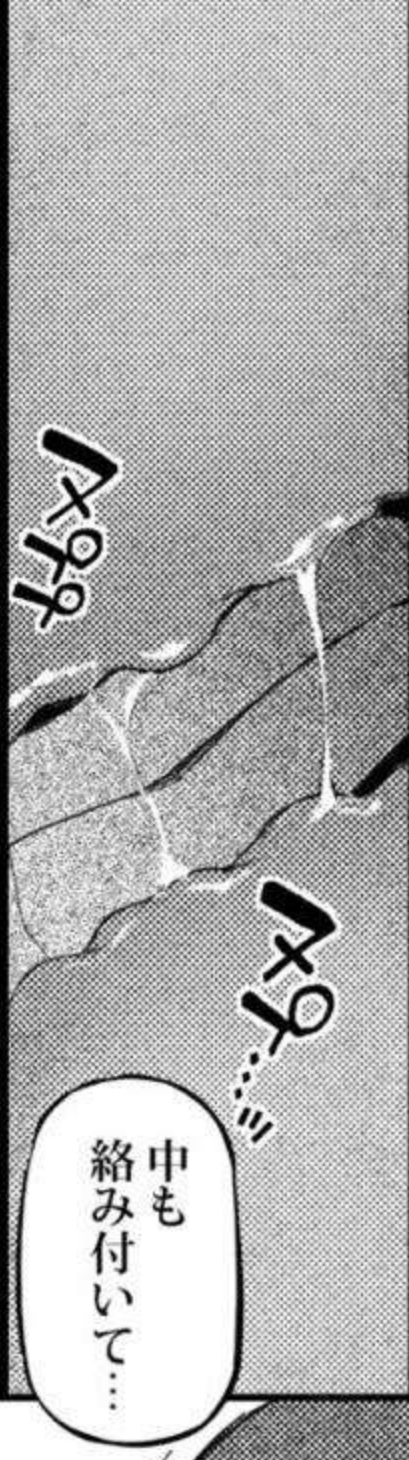
これだけは…
いつも
緊張する…

っ…

ドキッ



スッ!



あ...

あ...

ジュッ

ジュッ...

中も
絡み付いて...

ジュッ

ジュッ

ジュッ

花音さんのここ、
すごく熱いです...

美咲...ちや...

もっ...



あはっ...!

あ...

ジュッ

ジュッ

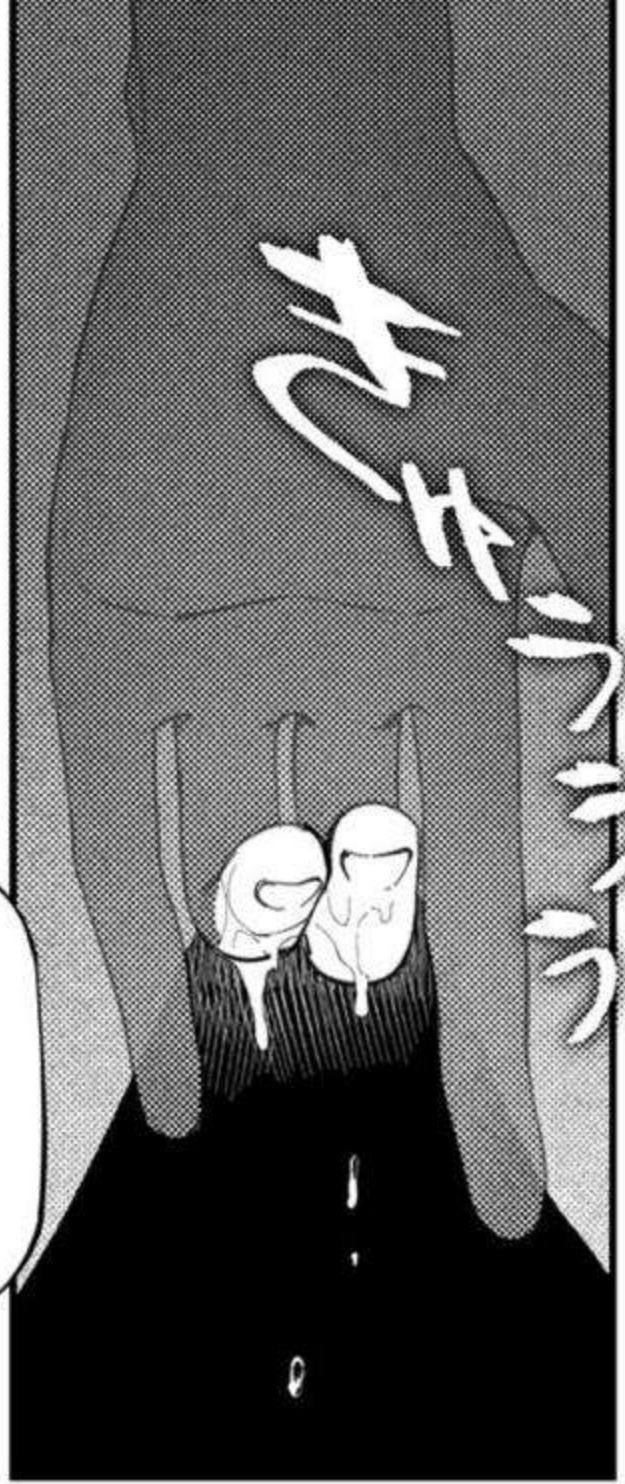
んっ...!

ジュッ

ジュッ

花音さんを
気持ち良くさせたい...









み…美咲ちゃん
お、お願い…

ご、ごめんね
少しだけ…
不安になって

美咲ちゃんの顔…
見たい…っ

!



花音さんの
顔を見た方が
安心するからー

あたしだって…

…はい



なんて：
気持ちとは
言わないと

伝わらないと
知ってるのに…

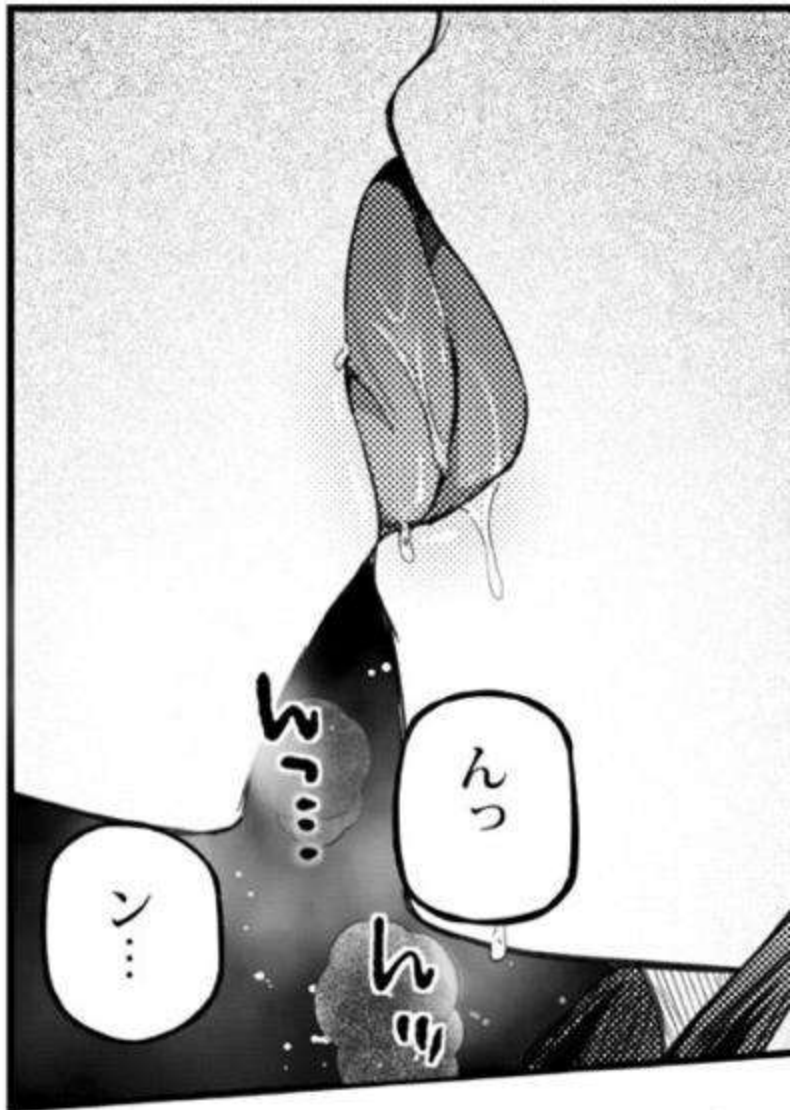


こういう時の
花音さんは…

ん…
はあ…

余裕ない
表情を
見せながら

っ…



んっ

ん…

ん…

ん…



っ…!



もっと…
んっ…

言葉を
聞かせて
くれるからー

んっ



み、美咲ちゃ…

わ、私…
もう…っ！

うん、
大丈夫だから…

贅沢なのは
知ってるけど

何度も
欲しくなって



その瞬間が
あたしは

あ…！



たまらなく
好きで…



だから

んっ…！

ごめんね、
花音さん…

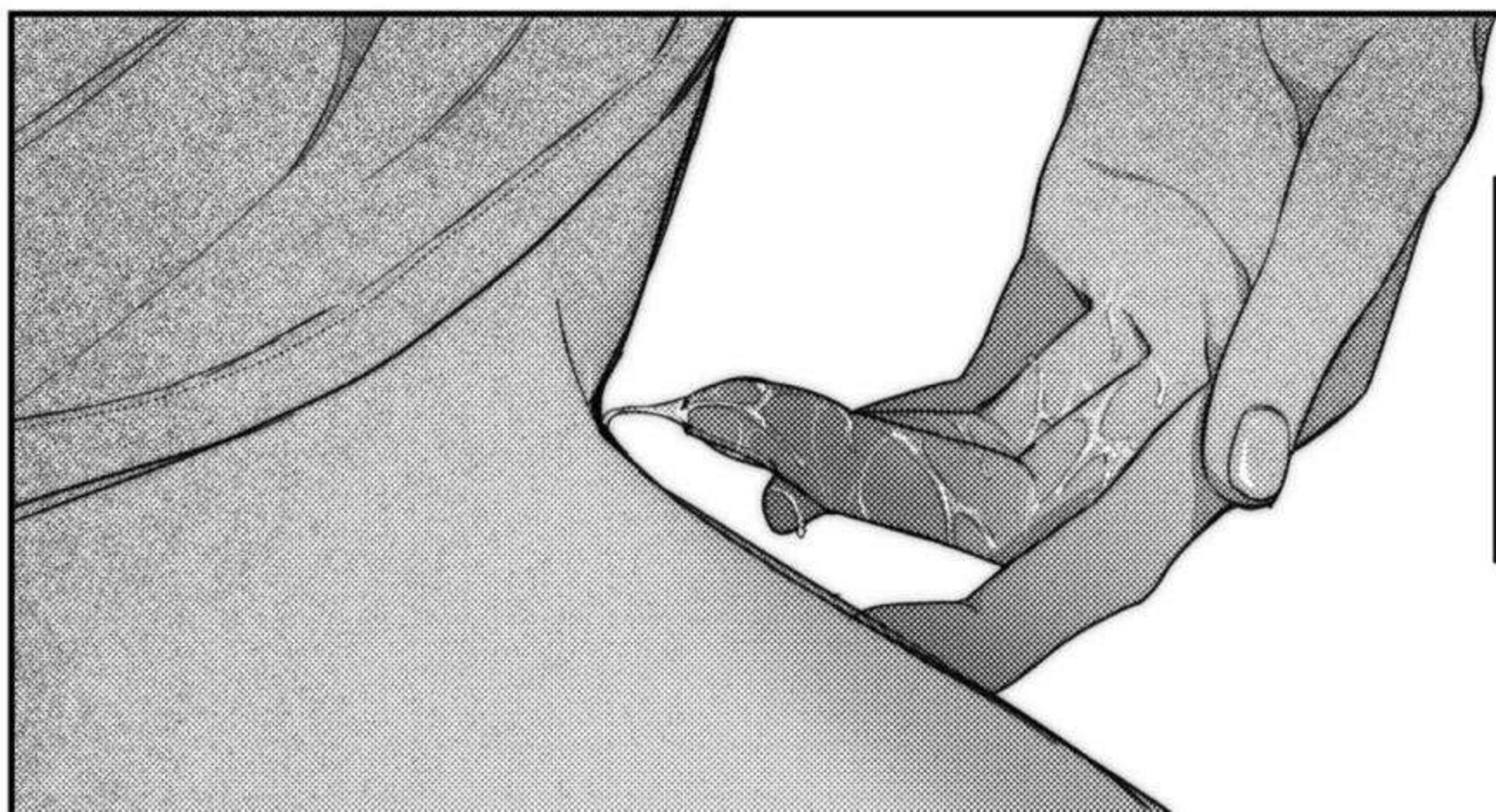


は、あ…

もう
少しだけ…



いつかは
ちゃんと
言うから—



待ってて…



花音さん
その…今日…
どうでした？

ん…

後からは
はじめて
だった…



美咲ちゃんの
顔が
見れなくて

ちよっとだけ
足りなかった
…かな？

は、はい…

美咲ちゃんは
どうだった？

へっ!!
あたしですか？

花音さんって
たまに大胆なこと
言う気がする…



…あたしは…

花音さんのうなじに
吸い付いたのが、
良かったなんて…



…そんなところに
付けても、

私は
見れないのに…?

ぎゅっ



…まあ、
花音さんが
嫌じゃなければ

あたしは
また…
してみたい
かも…?

絶対に
言えない…



たっ



あはは…
美咲ちゃんまた
顔赤くなってる

うう…
花音さんの
せいですよ…?

ふふ…
大好きだよ、
美咲ちゃん♪

あ、あたしも…!
…好きです…
うう…